

高等学校・湘北短期大学連携プログラム
— 湘北 カレッジ・パス・プログラム (Shohoku College Path Program—SCoPP)—

平成27年度 出張授業内容一覧



授業名	内容	教員氏名
キャリア教育系		
『キャリアリテラシー』入門	湘北短期短期大学1年生前期に学ぶ『キャリアリテラシー』は就業力育成科目群の科目として開講されています。社会での様々な場面でのCASEについてディスカッションしながら学ぶ授業として展開しています。その一部を高校生に体験いただきます。	キャリアリテラシー担当教員
『デザインすることについて考えよう』	デザインに興味を持つ生徒がその興味を持ち続けて生きていこうとした時、どういう仕事に就くか、どういう生き方をしていけば良いかということについては、決まりきった答えはなく、そのキャリアについては多岐にわたります。今、何をを行い、将来何をを目指すのかということについて、現時点で自分自身を磨くことへの動機が高まるような機会を提供する講座とします。	岩崎 敏之
コミュニケーション系		
『現代社会コミュニケーション～お互いに理解し合うために～』	学校生活において、人間関係について難しく考えてしまうこともありますよね。ちょっとした発想のヒントを得ることで気持ちが軽くなり、ストレスのない良好な人間関係を保つことも可能です。皆さんと一緒に考えてみましょう。	飯塚 順一
『間違いやすい敬語』	社会人として仕事をするときには、敬語をきちんと使う必要があります。よく耳にする間違った言葉遣いを紹介しながら、敬語について簡単に解説します。	伊藤 善隆
『パーソナルイメージをデザインしよう』	人は「外見」だけで、あるいは「内面」だけで成り立っているわけではありません。「外見」と「内面」が無理なく融合したときに、「その人らしさ」をアピールすることができるのです。「自分らしさ」を外見に活かし、第一印象から好感度を持たれる社会人になる方法を学びましょう。	小森 潔
『旅先での英会話』	英語のアウトプトを中心に行くと同時に、異文化への理解を深めることを目的とします。旅行で使う英会話を実際に聞き、海外の習慣についても学びましょう。	熊谷 摩耶
ビジネス系		
『株式会社のしくみ』	この授業では、身近にあるけど遠い存在、知っているようだけど意外と知らない「株式会社」について説明します。株式会社の「株式」とはいったい何なのか、それはいったいどこに行けば買えるのか、株式をもつとどんないいことがあるのか、株式会社とそれを取り巻くしくみについて包括的に説明します。	石崎 琢也
『財務データから読み解く企業経営』	経済のグローバル化が進展する中、利益を効率的に稼ぐ欧米流の経営が日本でも浸透してきました。その一方で、従業員や顧客などの様々なステークホルダーに配慮した経営の重要性を指摘する意見も増えてきました。本授業では、企業が公表する財務データを活用して、企業経営の「今」を読み解いていきます。	大塚 良治
『エコマテリアル-日本企業の環境配慮製品コンセプト』	企業は、環境にやさしい製品・サービスを提供することに努力しています。リサイクルすればすべてエコだと思いがちですが、そうではない場合もあります。Webデータベースを用いて、環境配慮製品の考え方や事例を紹介します。	小棹 理子
『数字にだまされないための統計学』	「平均値」、「最大値」、「最小値」などの数字で物事を見ていませんか？分布やばらつき、割合（パーセント）など、身近な事柄を統計的な見方で表現してみましょう。	小棹 理子
『アンケート調査入門』	アンケート調査とは質問項目とその質問に対する回答欄からなる調査用紙を用いた調査のことです。目的とする情報を収集したり、商品やサービスの改善点等を見付け出す方法として利用されています。本授業はアンケート調査の基本的な方法と適切な質問項目を作るためのポイントをご紹介します。	田口 由美子

授業名	内容	教員氏名
『日常生活に潜むマネーのトラブル』	ふだんの生活の中に潜むマネーに関するさまざまなトラブル(例えば、キャッチセールス、振り込め詐欺、インターネットによる購入トラブル、クレジットカード盗難など)について解説します。	船越 洋之
『商品の企画とは?』	私たちが買い物に行くスーパーやコンビニエンスストア等の小売店でジュースやアイスクリーム等のあらゆる商品が次々と開発され、店頭に並んでいます。このような商品はどのように作られ、販売されているのでしょうか。事例を交えて説明します。	美藤 信也
『旅程管理主任者資格 ~目指せ! ツアーコンダクター~』	旅行に欠かせない「ツアーコン」とはどのような仕事なのか、そしてどのような知識が必要なのかを紹介。パンフレットの読み方など、観光旅行に行くときにも役に立つ豆知識としても役に立ちます。	山形 俊之
情報系		
『Scratch によるプログラミング』	MITが開発したプログラミング言語スクラッチを使います。プログラミング経験は「まったく不要」です。図形を組み合わせてプログラムすることから対象年齢は8歳以上で誰でも使えますが、一方で奥深いプログラミング言語でもあります。※USBを使用できるパソコン教室をご用意ください。※受講者数は30名までとさせていただきます。	
『一歩先行くWEBサービスの使い方』	現在様々な無料のWEBサービスが溢れています。これらのサービスをうまく使うと勉強、仕事、趣味など様々な面で役立ちます。Googleのサービスを中心にTwitter、Evernote、Dropboxなどの紹介をします。また、これらのサービスを利用する上での注意点についても触れます。※パソコン教室をご用意ください。	内海 太祐
『情報セキュリティ』	インターネットが発達した今日、情報セキュリティに関する知識を身につけておくことは、今や、社会生活をしていく上で必須のものとなりました。この講義では、身近な例をあげながら、スライドや動画を多用して、セキュリティの実態を紹介いたします。	
『EXCELプログラミング』	EXCELには定型業務を効率よく処理するために、VBAというプログラミング言語が用意されています。この講義では、VBAを用いて、簡単なプログラミングを体験します。※パソコン教室をご用意ください。	小野目 如快
『PCで楽しむ動画の仕組み』	ニコニコ動画やyoutube等、インターネット上では様々な形で動画を楽しむことができます。動画はどのような形式で保存されているのか、画質はどのように調整されるのか、パソコン上で表示されるデジタル画像の仕組みについて紹介します。	高木 亜有子
『ゲームはどうやって作られているのか?』	みなさんが楽しんでいるゲームはどのように作られているのでしょうか? ゲームを作る現場ではどういう人たちが働いているのか、どういうスキルが必要なのか、アイデアを出すためには日々どう過ごせばよいのかを紹介いたします。	
『ヒューマンインタフェース』	コンピュータ発展の歴史はコンピュータを使いやすくするための努力の積み重ねの歴史と言っても過言ではありません。どのようなコンピュータが使いやすいのでしょうか。そもそも使いやすいとはどのようなことでしょうか。この講義では使いやすさの評価基準や過去・現在・未来のインタフェースについて紹介します。	中村 亮太
『インターネット: ネットワークの基礎』	今やネットワークの時代です。家でも無線LANを構築して快適な環境でコンピュータを使いたいと誰もが思います。快適にインターネットを利用したり、セキュリティ対策についても困らないようにするためにネットワークの基礎的なことを知らなければなりません。この講義ではネットワークのひと通りの基礎知識について紹介します。	
『ピクトグラムのデザイン』	ピクトグラムを取り上げ、効果的な情報伝達のためのデザインについて解説します。そして、実際にオリジナルのピクトグラムを作成し、情報デザインの基礎を体験します。	森崎 巧一
『Processingを用いた表現方法』	メディアアート制作などでよく用いられているプログラミング言語Processingを用いて、CGの表現方法の基礎を体験します。※パソコン教室をご用意ください。	

授業名	内容	教員氏名
『Processingを用いた表現方法』	メディアアート制作などでよく用いられているプログラミング言語Processingを用いて、CGの表現方法の基礎を体験します。 ※パソコン教室をご用意ください。	森崎 巧一
身近なサイエンス系		
『地震に強い建物 弱い建物』	地震によって大きな被害を受ける建物の特徴を解説します。地震に弱い建物をどのように補強すればよいかという点についても解説します。	岩崎 敏之
『目が色を感じるしくみ』	ヒトの目が色を感じる仕組みを分子レベルで解説します。 後半は「色」というものに焦点を当てていろいろなトピックスを紹介します。 ※パソコン教室をご用意ください。	小田井 圭
『ものづくりにおけるデザインの視点』	携帯電話、デジカメ、パソコン、パソコンの中のソフトウェアなど、我々はモノに囲まれて暮らしています。使いやすいモノを作るために重要となる、モノとコトのデザインについて、事例を交えて紹介します。	高嶋 章雄
生活系(人)		
『生活をプロデュースすること』	日常生活や学校を卒業してからの人生を面白くしていくためには、どのようにしていけばよいのかについて考えます。進路を考えていくにあたってのヒントとなることごとを提供します。	岩崎 敏之
『生活習慣病とは？ ～自己の生活習慣について考えよう～』	近年各メディアでも多く取り上げられる「生活習慣病」と呼ばれるさまざまな病気。どのような種類の病気があり、一体何が原因で起こる病気なのでしょうか。病気とその原因を探っていく中で、自分の生活習慣について考えます。	小泉 綾
『心と体の密接な関係 ～「手に汗握る」の原理～』	「手に汗握る」や、「肝を冷やす」など、心の変化が身体に影響を及ぼす事を表す慣用語が数多くあります。では、実際には心と体はどのように関係しているのでしょうか。心と体の関係について学びます。	
生活系(衣)		
『ファッションと心理』	ファッションと心理に関して、特に色について解説します。春の色と言われるとどんな色をイメージしますか？夏の色、秋の色、冬の色は？季節の色だけでなく、ウキウキする色ってどんなでしょうか。ファッションと色彩について考えてみましょう。	太田 奈緒
『繊維の恋愛学？』	身の回りにたくさんある繊維製品。洋服、インテリアなど、様々なものが繊維で出来ています。繊維の種類、どうやって糸になって布になっていくのかなど、身近な話題(恋愛や人とのコミュニケーション)に例えてお話しします。	
『似合う色の見つけ方』	人には、その人それぞれの魅力をを引き立たせる「似合う色」があります。「似合う色」を身に着けるとその人のイメージと調和し、自然に整った印象を与え、個性が引き立つようになります。そのような自身に「似合う色」を一緒に探してみませんか。	小出 真理子
生活系(食)		
『食の文化』	知っているはずで、実は知らないことも多い私たちの食事について、文化的観点から説明します。例えば、「してはいけない箸のマナー」や「日本の食器の性別」、「正月料理の意味」など、図なども示して解説します。	布施 真里子

授業名	内容	教員氏名
『食品を選ぶ為のミニ知識』	「美味しそう」だけではなく、食品の包装に書いてある表示を良く見ると、その食品の特徴が見えてきます。それをうまく活用して、食品を賢く選ぶための知識を解説します。	布施 真里子
『キッチンのサイエンス』	料理をつくと「失敗」があったり「成効」があるのはなぜなのか、身近な例で説明します。高校までに学んだ化学・生物・物理の知識が生きてくることもわかります。また、料理が作れるとカッコいいと思われている一方で、近年、家庭で調理をしなくなっている傾向について考えます。	吉川 光子
生活系(住)		
『折り紙建築をつくらう』	模型づくりの基礎となるカッターの使い方を学び、一枚の紙からインテリアや建物が立体的に飛び出すカードをつくりまします。 ダイニングルームや教会などにチャレンジしてみましょう。	大橋 寿美子
『快適インテリア術入門』	インテリアの見方・つきあい方を学び、あなたらしい快適な暮らし方のヒントをつかんでください。人はインテリアを避けて生きるわけにはいきません、早めにお役立ちインテリア術を身につけ、それをきっかけに「もしかして、インテリアのこと、好きかも」と思ってもらえたら幸いです。また、普段はあまり気にかけないインテリアを取り巻くお仕事についても幅広く紹介しします。	水上 裕
保育・教育系		
『できる？できない？おしゃべり前の赤ちゃんとのコミュニケーション』	言語未習得の乳児は、大人とどのようにコミュニケーションしているのでしょうか？言語を中心に成り立っているおとな同士のやりとりとは大きく異なる乳児とのやりとりを紹介しします。	岡本 依子
『意外と身近な心理学』	心理学と聞くとどのようなことを思い浮かべるでしょうか？心理学は私たちの日常生活と密接に関わっていて、こころや気持ちだけではなく、みることやきくことにも深く関わっています。私たちの身近にはどのように心理学が関係しているのかを考えていきましょう。	沖潮満里子
『「子ども」を知る』	子どもたちは、自分を取り巻くさまざまな文化(家庭、地域、学校、メディア…)から、どのような影響を受けて成長しているのか、具体的な例を交えながら紹介しします。教師はもちろん、将来子どもと関わる仕事に就きたいと考えている生徒に、子どもについて考えることの面白さを伝えます。	佐藤 知条
『絵本から学ぶ』	絵本とは何か、絵本体験の魅力とは何か考える。	實吉 明子
『発達に遅れや障害のある子どもについて』	発達に遅れや障害のある子どもについて、基礎知識を解説します。	鈴木 弘充
『子どものことば』	幼児期初期の子どものことばの発達の特徴を解説します。	高木 友子
『私の人生と社会福祉』	社会福祉の領域の活動を自分の仕事や生きがいにしてきた背景や要因について、さまざまなエピソードを交え、伝えます。	田中 利則
『赤ちゃんの世界と大人の世界』	赤ちゃんや子どもとは異なる感覚をもって世界をみているようです。赤ちゃんならではの感覚を紹介しながら、赤ちゃんのみでいる世界を想像し、赤ちゃんとのかかわり方を一緒に考えてみましょう。	照井 裕子
『あなたは“エミール”をご存知ですか？』	『エミール』の著者はルソーといい、フランス革命前に活躍した人です。彼の『社会契約論』はお聞きになったことがあると思います。『エミール』は今日では「子どもの発見の書」といわれ、本書により近代の子ども論、教育論の扉が大きく開かれることとなります。本講義はその意義を解説いたします。	野口 周一

お問い合わせ先

〒243-8501 厚木市温水 428

湘北短期大学 リベラルアーツセンター

北野俊之・高橋可奈子

TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

E-mail: LAC@shohoku.ac.jp